

4世帯の状況

宇都宮市の世帯数は、196,732世帯、平成12年調査より8.8%増加している。

平成17年国勢調査による平成17年10月1日現在の宇都宮市（上河内町，河内町含む）の世帯数は、196,732世帯で、前回（平成12年国勢調査）に比べ、15,936世帯、8.8%増加している（国全体では5.3%増加）。

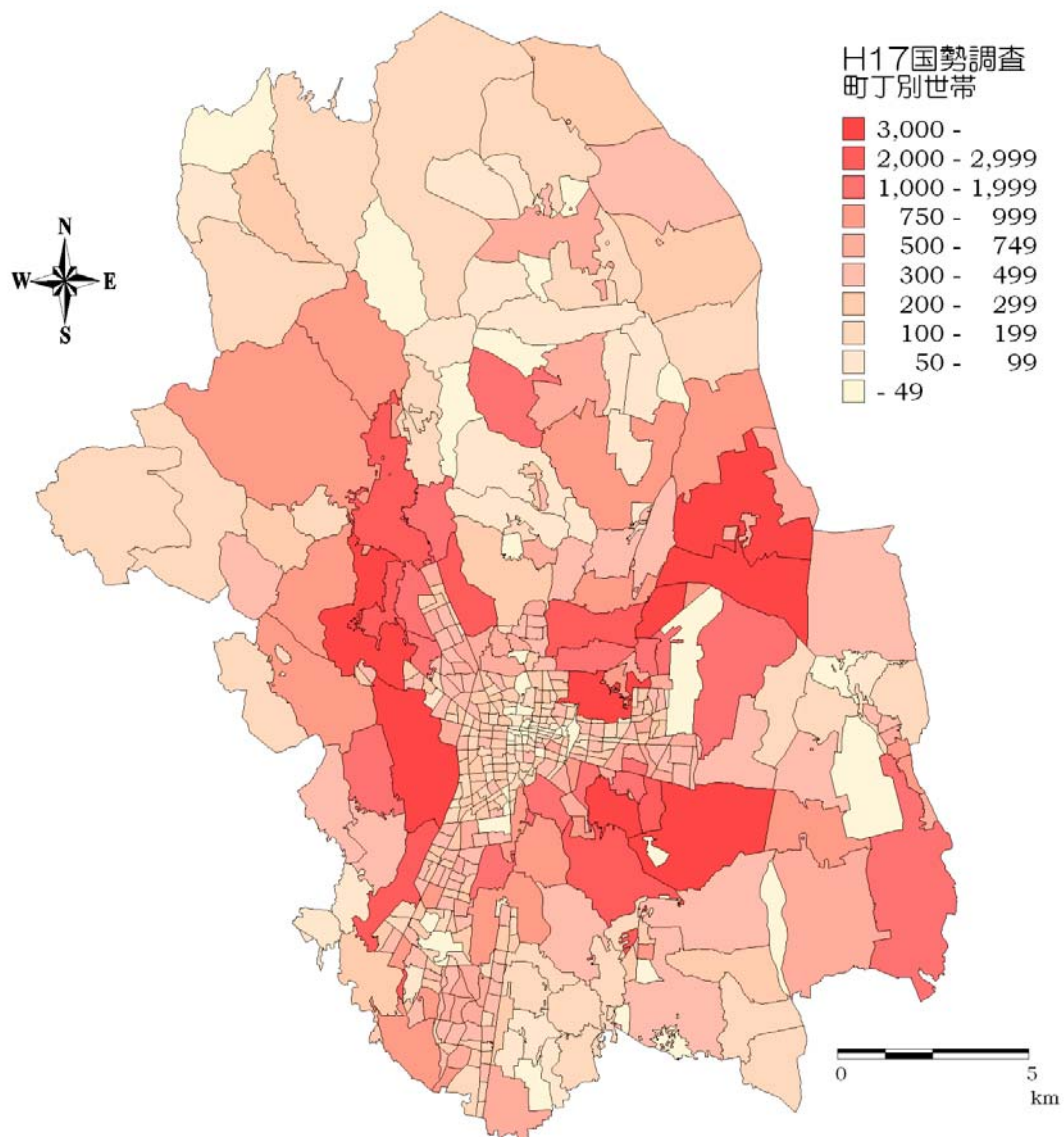
一般世帯は、194,051世帯で、前回に比べ16,260世帯、9.0%増加している（国全体4.9%増加）。

施設等世帯は、218世帯で、前回に比べ11世帯、5.3%増加している（国全体1.3%減少）。

（注）一般世帯とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒，病院・療養所などの入院者，社会施設の入所者，自衛隊の営舎内・艦船内の居住者，矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。

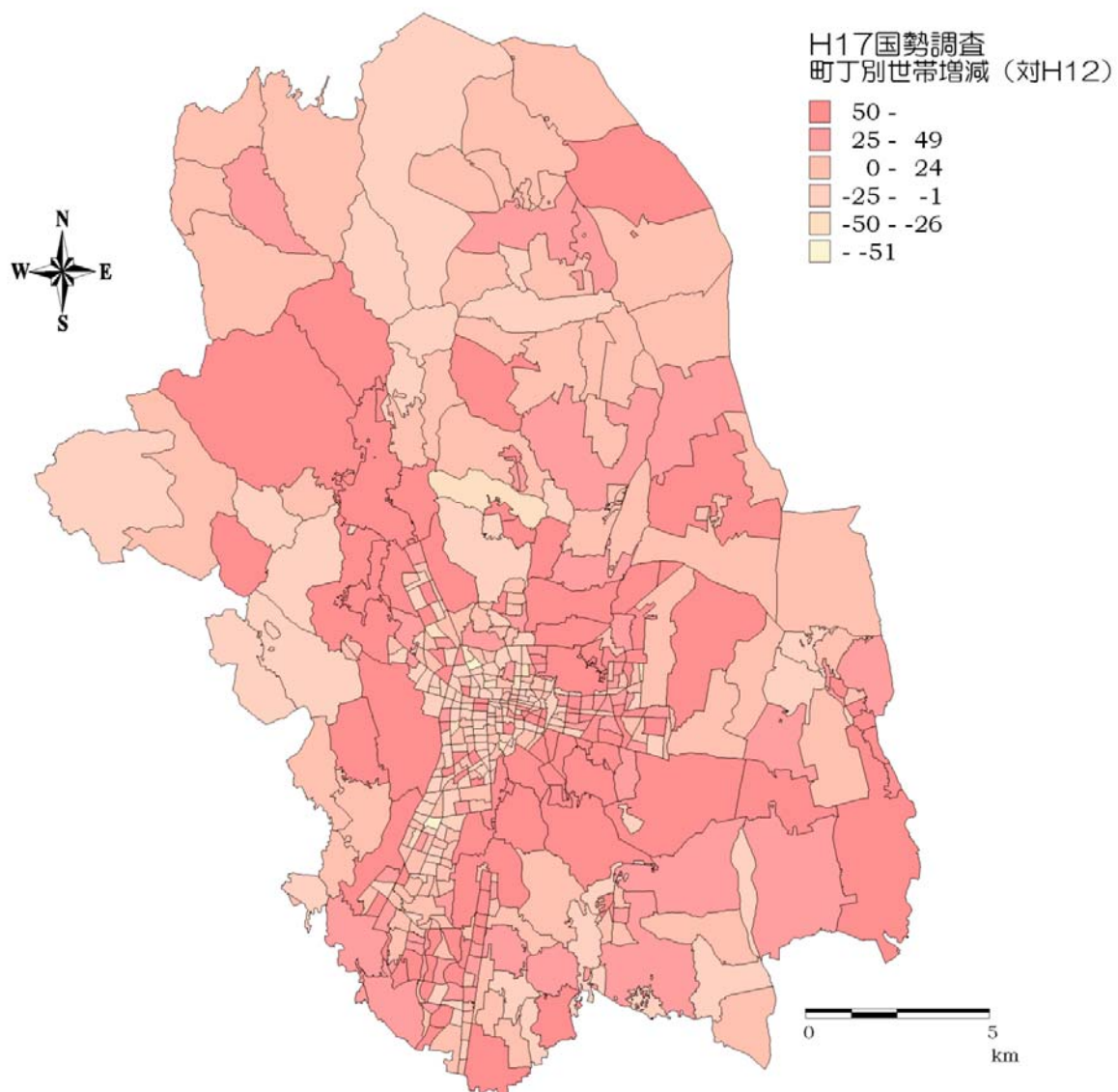
世帯の種類別世帯数(H17-12比較)
世帯数

	総数	一般世帯	施設等の世帯
宇都宮市	182,429	179,794	197
上河内町	2,698	2,694	4
河内町	11,605	11,563	17
H17総計	196,732	194,051	218
宇都宮市	167,494	167,060	188
上河内町	2,516	2,515	1
河内町	10,786	10,736	18
H12総計	180,796	180,311	207
H17-12比較	15,936	13,740	11
増減率	8.8	7.6	5.3



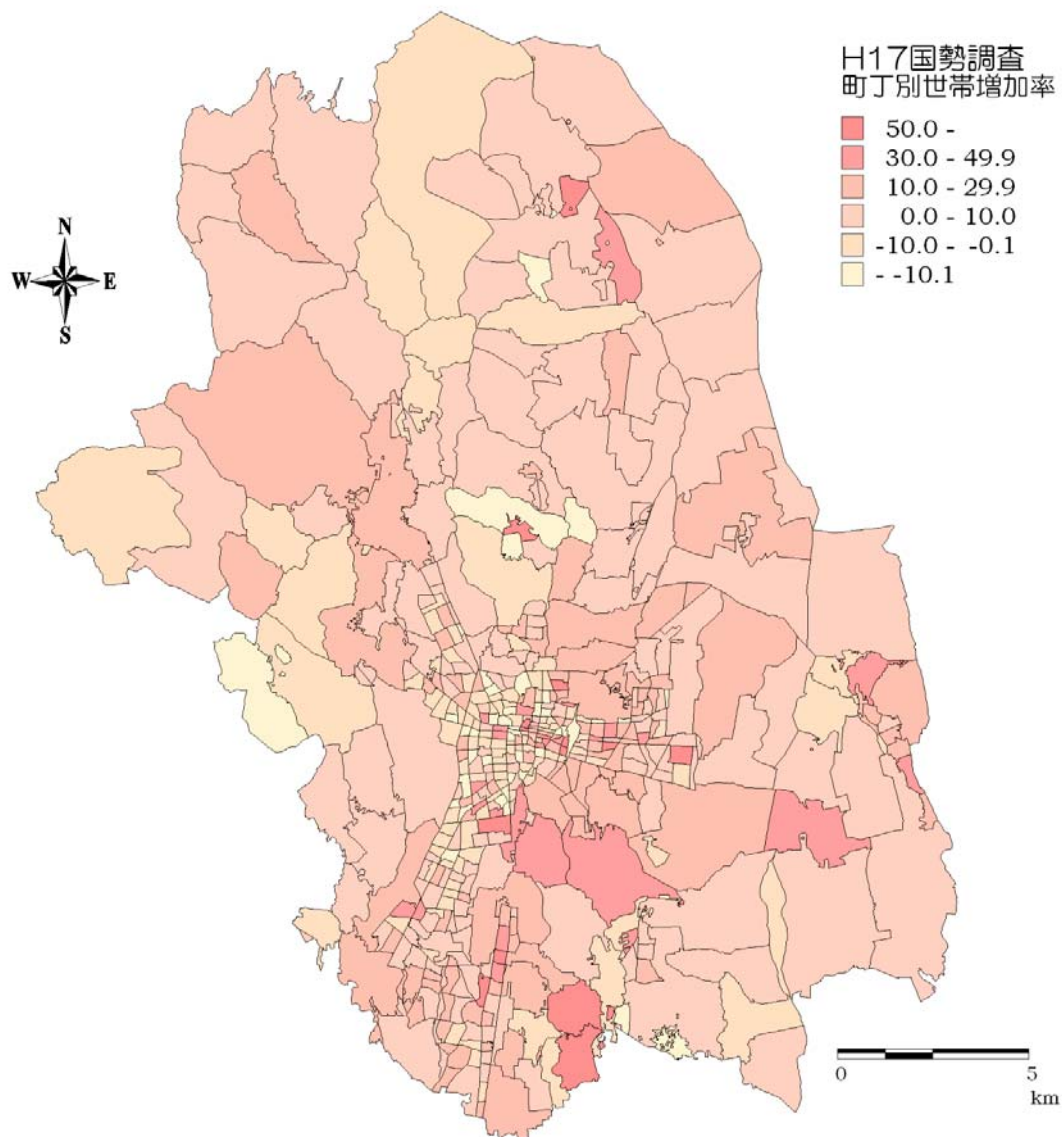
世帯数を町丁別で見ると、人口と同様に宇都宮環状道路や国道4号線、日光街道、水戸街道沿いが多い。

少ない地域は中心市街地やその近隣の宝木、陽南地区や篠井地区、上河内地域、瑞穂野地区の農村地域となっている。



平成 12 年からの世帯数増減を町丁別に見ると，日光街道の新里町，宝木本町から西川田町までの宇都宮環状道路周辺や国道 4 号線，水戸街道沿いが増えている傾向にある。

世帯数が減少しているところは，中心市街地から陽南，雀宮地区や上河内地域，城山地区など北西部が目立つ。



平成 12 年からの世帯増加率を町丁別で見ると，人口増加率と同じく陽東 6 丁目が高くなる。続いて馬場通り 1 丁目，駅前通り 3 丁目，豊郷台 3 丁目，東宿郷 6 丁目，大字松田と宅地開発や大規模マンション建設された地域が高くなっている。

またインターパーク宇都宮南がある東谷町，中島町も増加傾向にある。

対して，中心市街地やその南部付近，北西部は減少傾向にある。

**世帯人員別でみると1人世帯，2人世帯，3人世帯が増加している。
一般世帯の1世帯当たり人員は2.54人と減少している。**

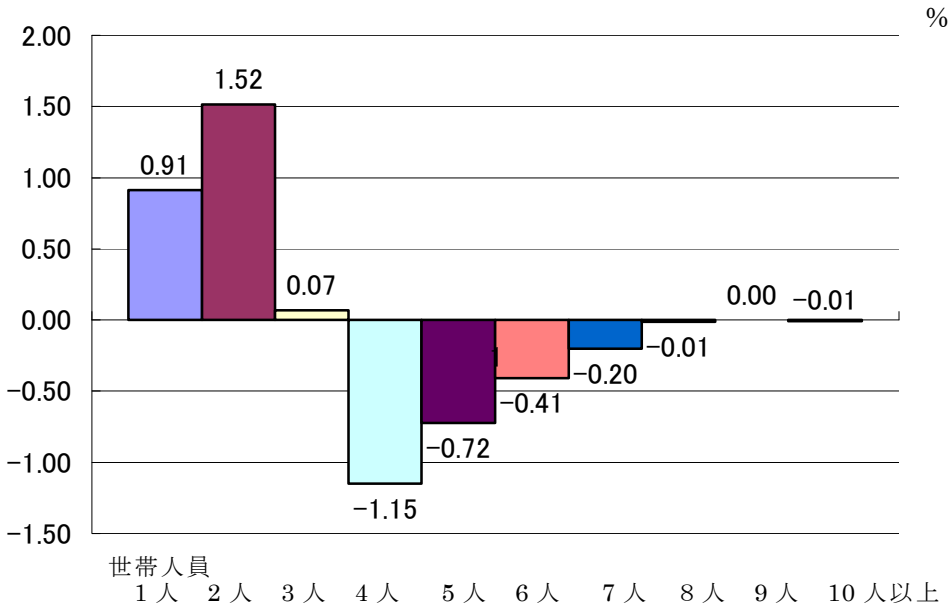
平成12年～17年の一般世帯数の増加率を世帯人員別にみると，1人世帯が15.5%増，2人世帯が15.1%増，3人世帯が6.9%増と，世帯人員が3人以下の世帯で増加しているのに対し，4人以上の世帯では減少している。また，一般世帯数の世帯人員別割合をみると，1人世帯，2人世帯，3人世帯が増加しているのに対し，4人以上世帯では減少している。なお，一般世帯の1世帯当たり人員は2.54人で，平成12年の2.66人から減少している。

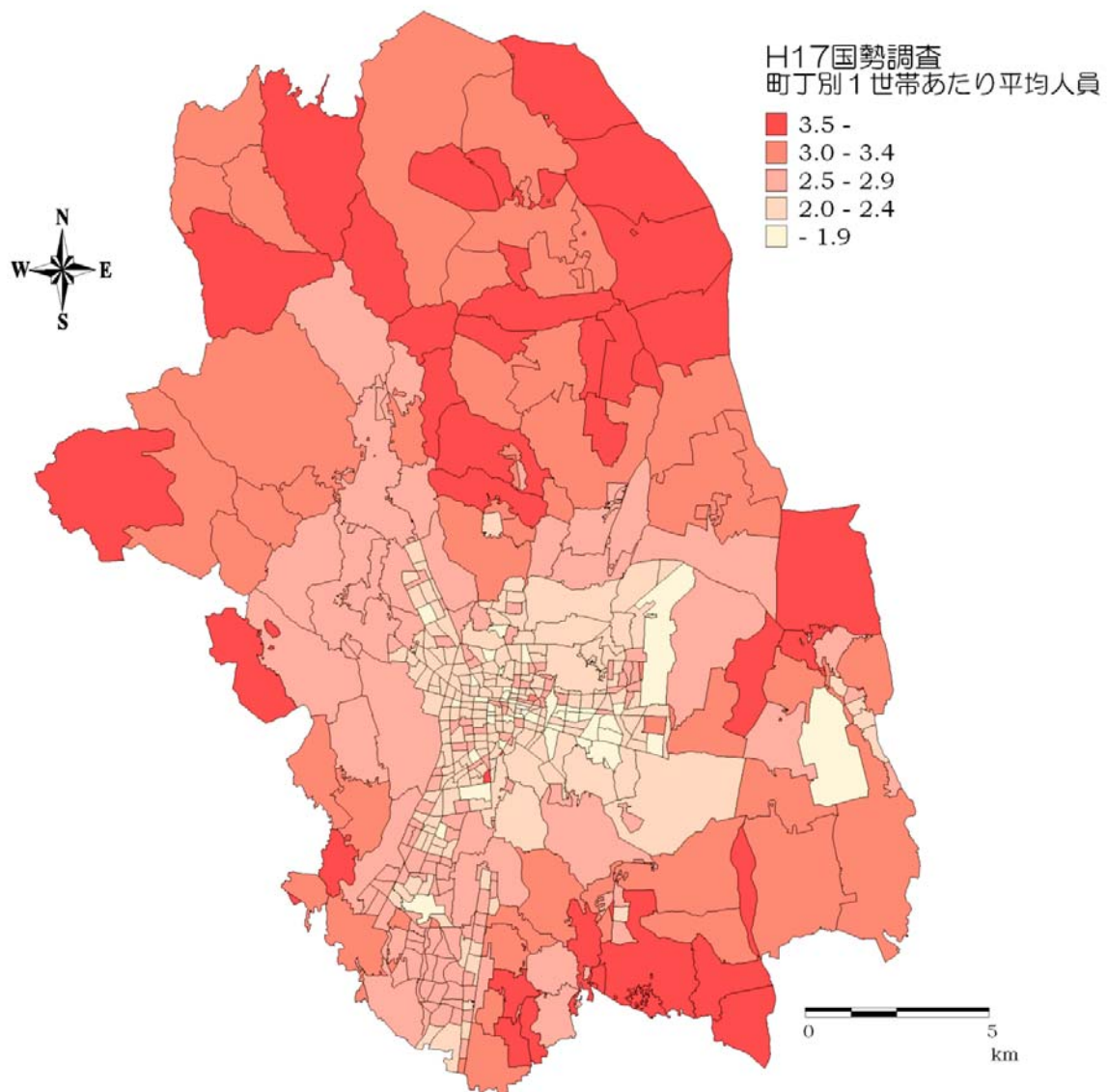
世帯人員(10区分)別一般世帯数 一般世帯人員及び1世帯当たり人員(問答小・下宿などの単身者及び会社などの独身寮の単身者・特等) (再掲)

	総数	世帯数										世帯人員 1人	世帯人員 2人	世帯人員 3人	世帯人員 4人	世帯人員 5人	世帯人員 6人	世帯人員 7人	世帯人員 8人	世帯人員 9人	世帯人員 10人以上	1世帯当 り人 員	問答小・ 下宿 などの単 身者	会社な どの 独身寮 の単身者		
		世帯人員 が 1人	世帯人員 が 2人	世帯人員 が 3人	世帯人員 が 4人	世帯人員 が 5人	世帯人員 が 6人	世帯人員 が 7人	世帯人員 が 8人	世帯人員 が 9人	世帯人員 が 10人以上															
H17	179,794	56,810	44,827	34,606	28,057	9,618	4,158	1,337	300	56	25	448,069	249	942	2,343											
上河内	2,694	269	583	568	596	334	209	96	36	13	-	9,494	352	6	17											
河内	11,563	1,888	2,951	2,708	2,382	958	456	159	49	8	4	34,589	299	40	155											
合計	194,051	58,967	48,361	37,872	31,035	10,910	4,823	1,592	385	77	29	492,152	254	988	2,515											
H12	167,060	49,239	39,102	32,488	28,640	10,602	4,833	1,706	356	64	30	437,144	262	870	2,981											
上河内	2,515	227	445	490	591	364	231	116	39	10	2	9,391	373	4	27											
河内	10,736	1,581	2,465	2,447	2,469	1,001	515	208	37	8	5	33,699	314	26	132											
合計	180,311	51,047	42,012	35,425	31,700	11,967	5,579	2,080	432	82	37	480,234	266	900	3,140											
H17-12 増加率(%)	13.740	7.920	6.349	2.447	-665	-1.057	-756	-438	-47	-5	-8	11,918	-0.12	88	-625											
	7.6	15.5	15.1	6.9	-2.1	-8.8	-13.6	-21.6	-10.9	-6.1	-21.6	25	9.8	-19.9												

	総数	世帯人員 が 1人	世帯人員 が 2人	世帯人員 が 3人	世帯人員 が 4人	世帯人員 が 5人	世帯人員 が 6人	世帯人員 が 7人	世帯人員 が 8人	世帯人員 が 9人	世帯人員 が 10人以上
H17世帯人員別割合(%)	100.00	30.39	24.92	19.52	15.99	5.62	2.49	0.82	0.20	0.04	0.01
H12世帯人員別割合(%)	100.00	29.47	23.41	19.45	17.14	6.35	2.89	1.02	0.21	0.04	0.02
H17-12増減	0.00	0.91	1.52	0.07	-1.15	-0.72	-0.41	-0.20	-0.01	0.00	-0.01

一般世帯数の世帯人員別割合増加率 (H17-12 比較)





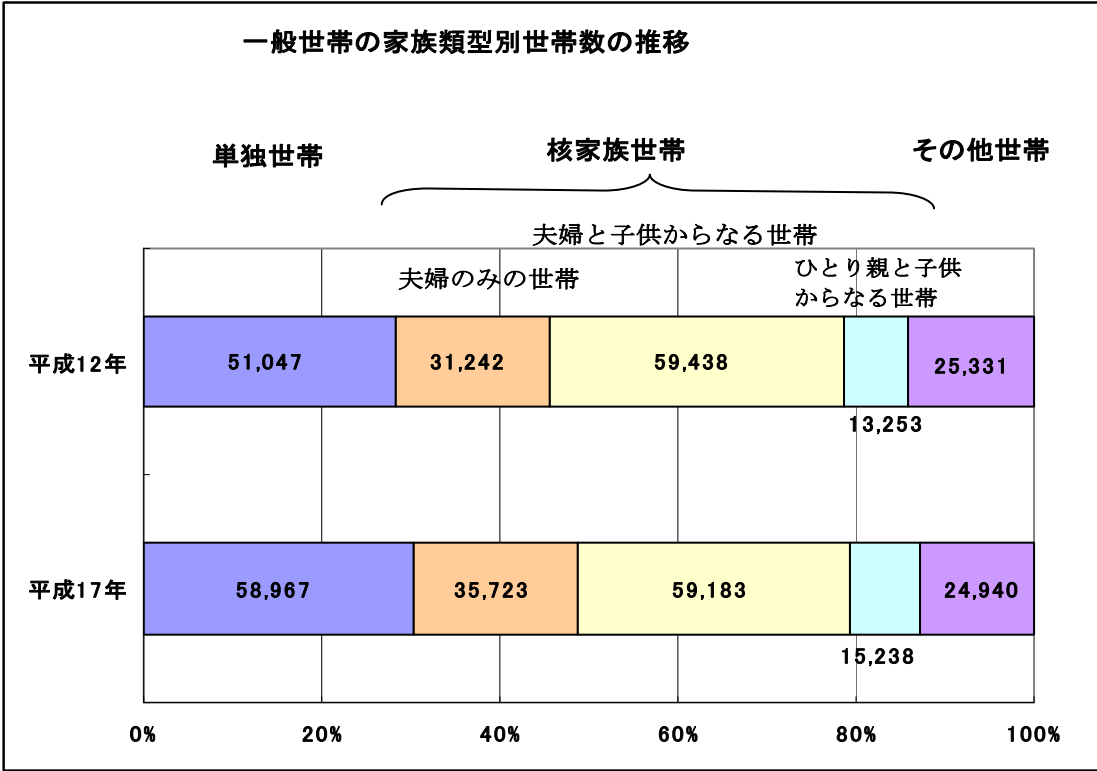
一世帯あたり平均人員を町丁別に見ると，市内外縁部の農村地域が一世帯あたりの人員が多い傾向にある。人口・世帯数が少なく以前から居住している住宅が多い地域である。中心市街地に近づくほど人員が少なくなっていることがわかる。

核家族世帯は増加。このうち「夫婦のみの世帯」は増加。「夫婦と子供から成る世帯」は減少

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯が 110,144 世帯（一般世帯数の 56.8%）で、平成 12 年に比べ 6.0% 増加している。このうち「夫婦のみの世帯」は 35,723 世帯（同 18.4%）、「夫婦と子供から成る世帯」は 59,183 世帯（同 30.5%）となっており、平成 12 年に比べ「夫婦のみの世帯」は 14.3% 増加、「夫婦と子供から成る世帯」は 0.4% 減少している。

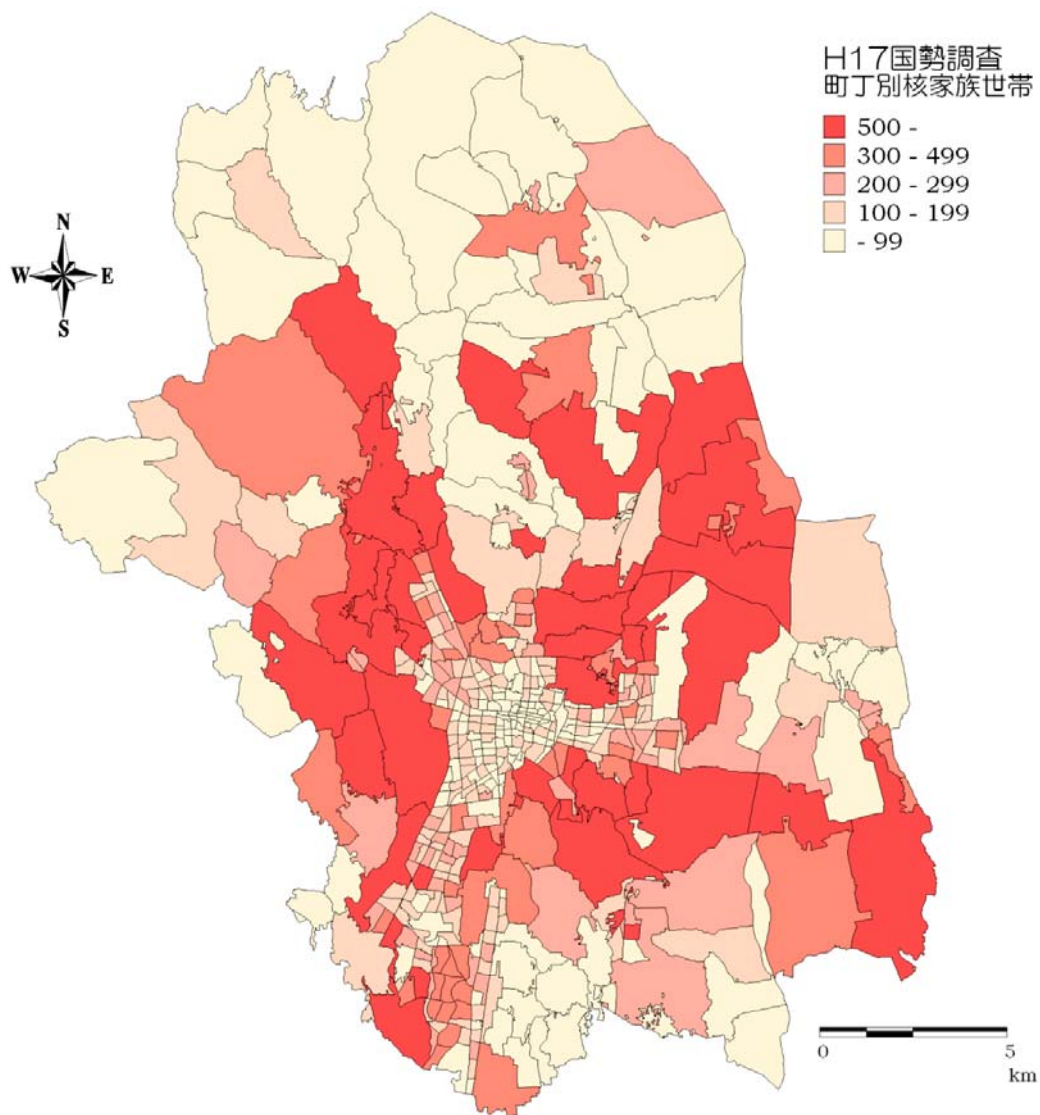
一般世帯のうち一人暮らし世帯（単独世帯）は 58,967 世帯（同 30.4%）で、平成 12 年に比べ 15.5% 増加している。

核家族世帯の割合が最も高いのは宝木地区の 67.5%，次いで河内地域が 65.4%，雀宮地区が 64.7% となっている。一方、最も低いのは篠井地区の 46.1%，次いで平石地区が 50.1%，本庁地区が 50.6% となっている。



地区別一般世帯数,核家族世帯の割合

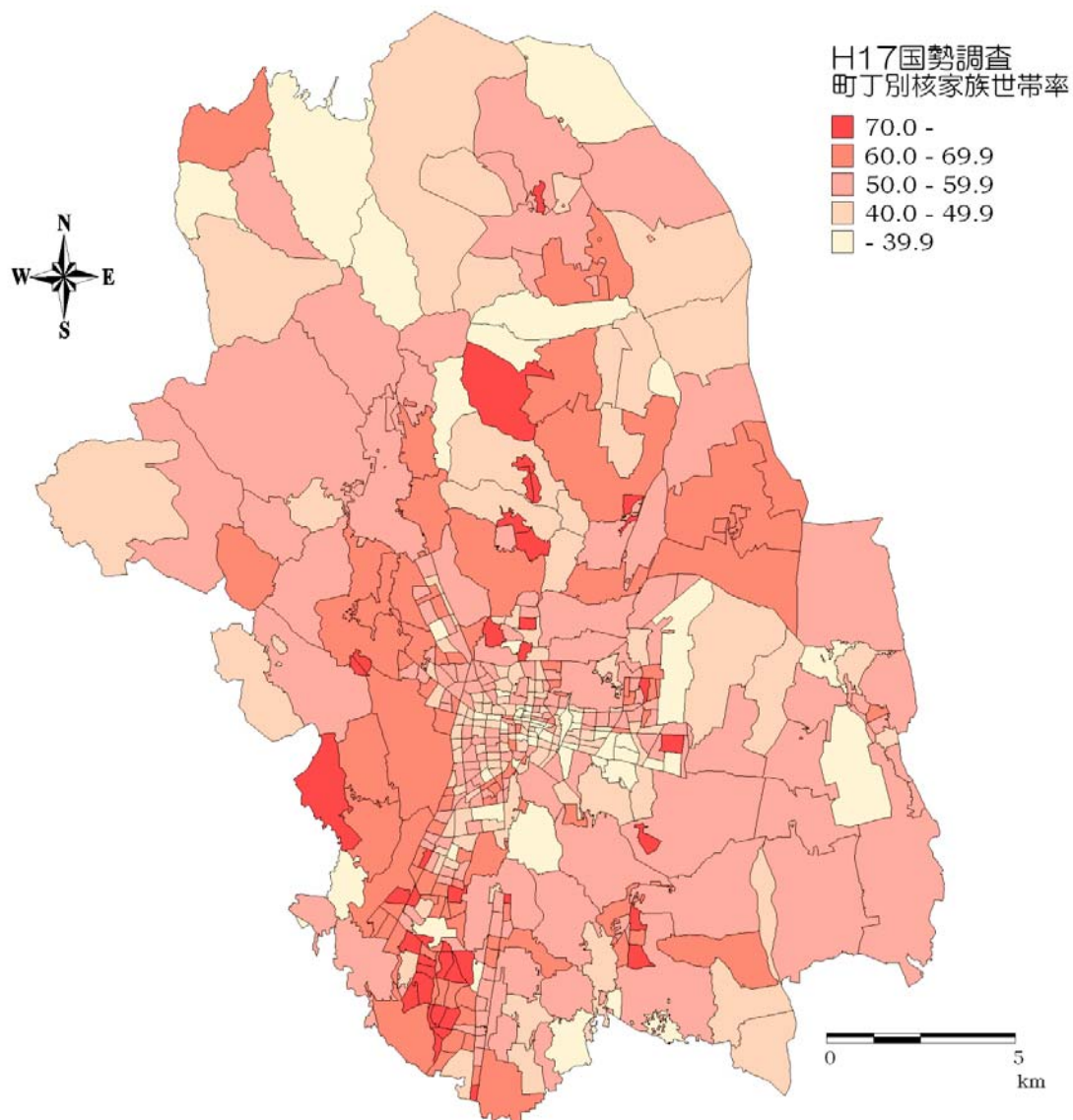
	地区	総数(世帯)	核家族世帯 (世帯)	核家族世帯 の割合(%)
1	宝木	12,095	8,169	67.5
2	河内	11,563	7,562	65.4
3	雀宮	14,445	9,344	64.7
4	姿川	19,830	12,624	63.7
5	豊郷	11,815	7,278	61.6
6	城山	7,897	4,811	60.9
7	瑞穂野	2,611	1,580	60.5
8	国本	4,561	2,750	60.3
9	陽南	10,666	6,294	59.0
10	富屋	1,335	776	58.1
11	上河内	2,694	1,497	55.6
12	清原	7,902	4,375	55.4
13	横川	13,382	7,134	53.3
14	本庁	57,180	28,953	50.6
15	平石	12,355	6,194	50.1
16	篠井	723	333	46.1



核家族世帯数を町丁別に見ると、中心市街地の周辺部が多い。人口、世帯数が多い地域である。

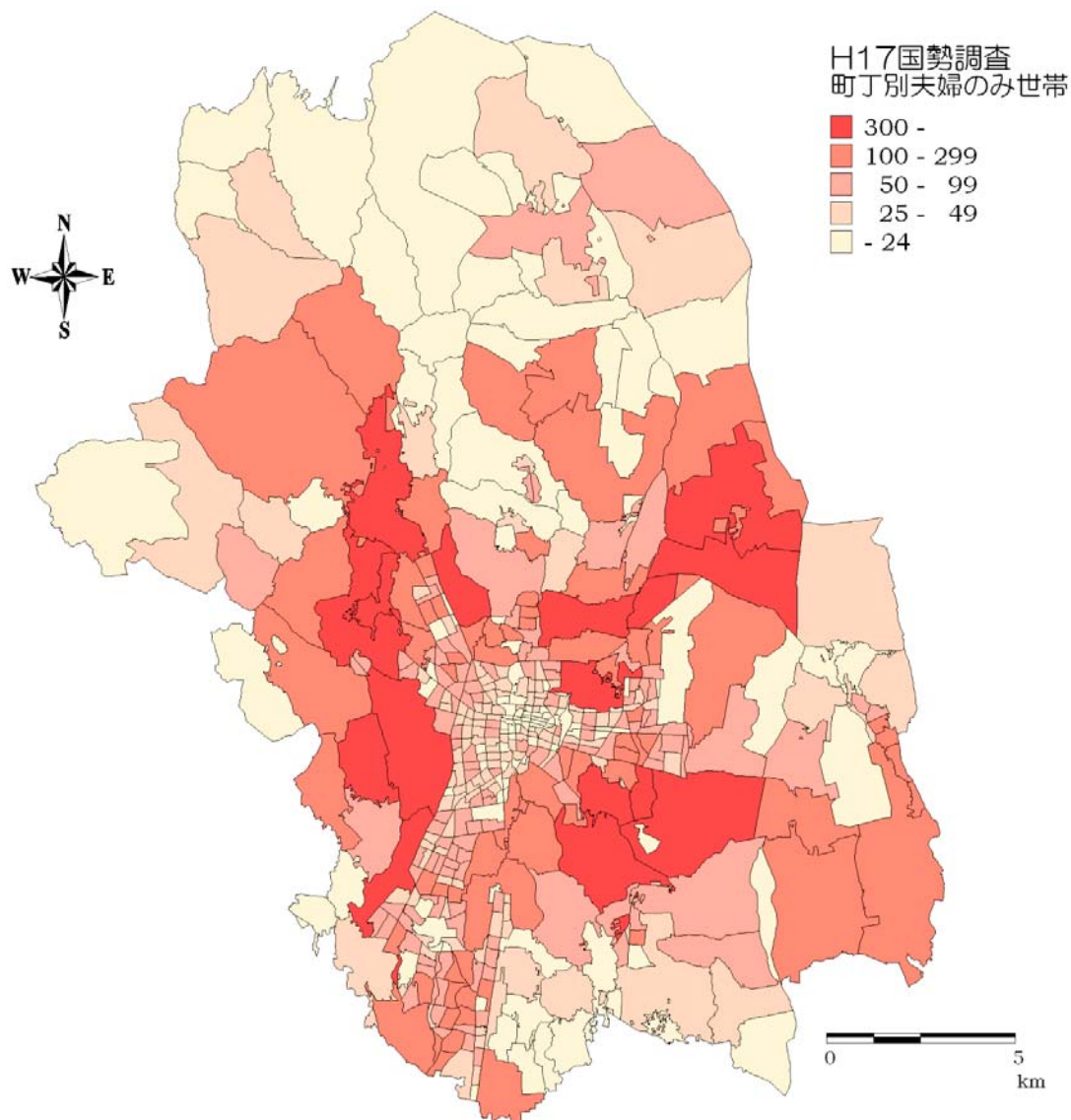
また宇都宮環状道路やその幹線道路の国道4号線、日光街道、水戸街道沿いに多い傾向にある。

中心市街地や宝木、陽南、雀宮地区や瑞穂野地区、北西部の農村地域が少ない傾向にある。



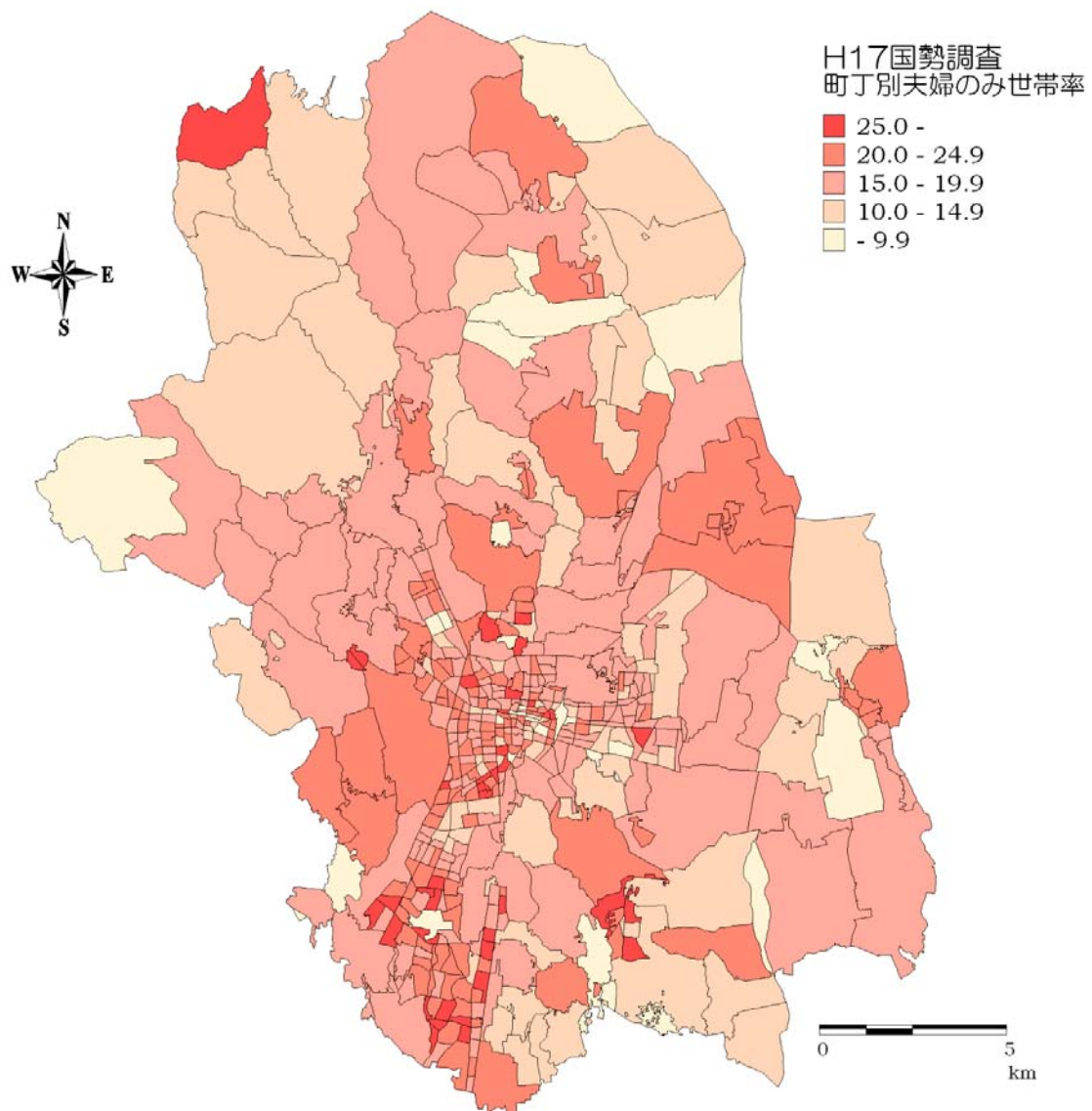
核家族世帯率（核家族世帯数/世帯数）を町丁別で見ると、豊郷台、陽東6丁目、横山、瑞穂と新旧住宅団地が立地している地域が高い。

対して、中心市街地や工業団地などは低い傾向にある。



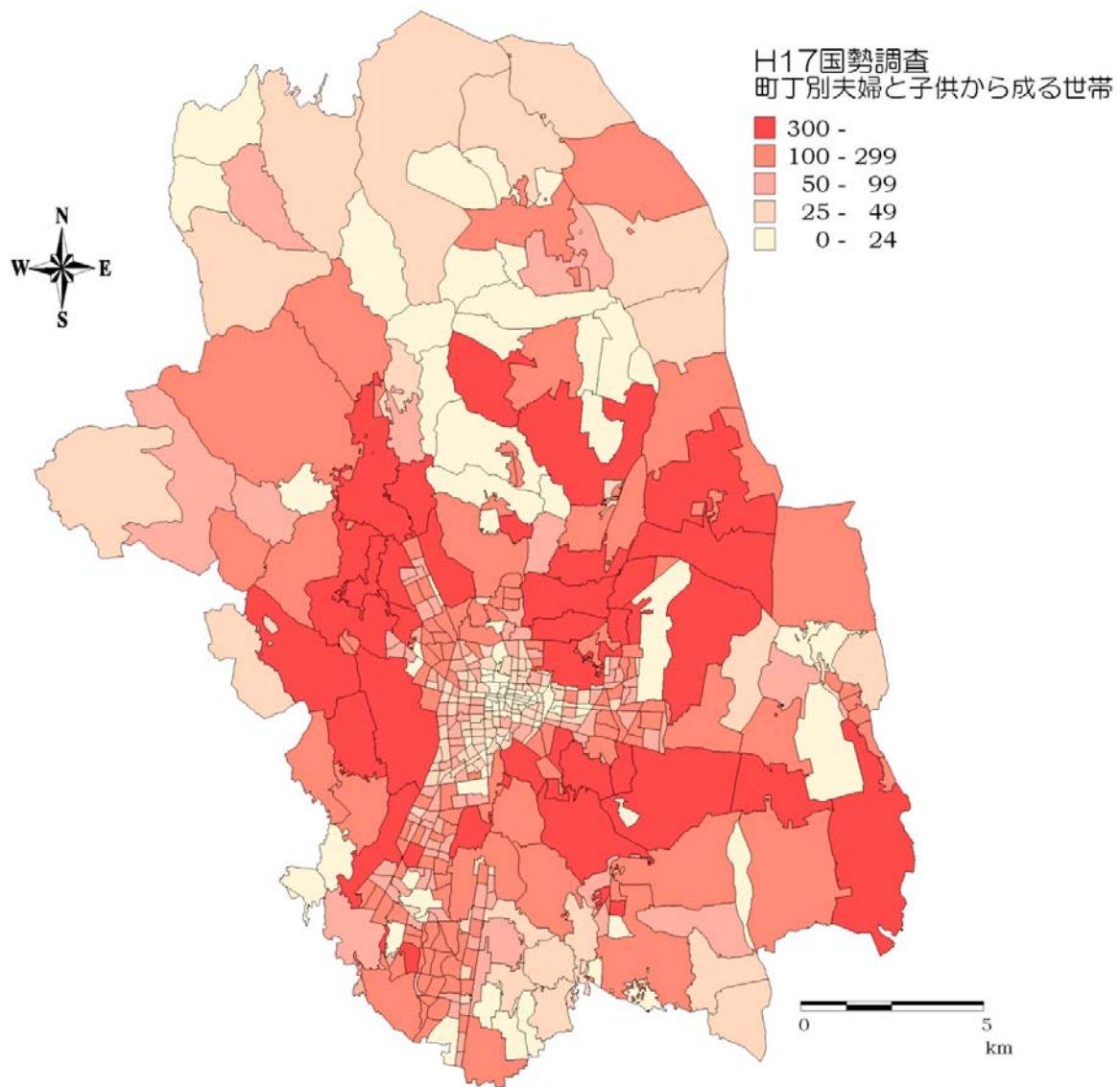
夫婦のみの世帯数を町丁別に見ると，中心市街地周辺が多い。これは，人口，世帯数や核家族世帯数の分布図と同様の傾向が見られる。

これに対し，中心市街地や工業団地や瑞穂野地区，北西部の農村地域は少ない。

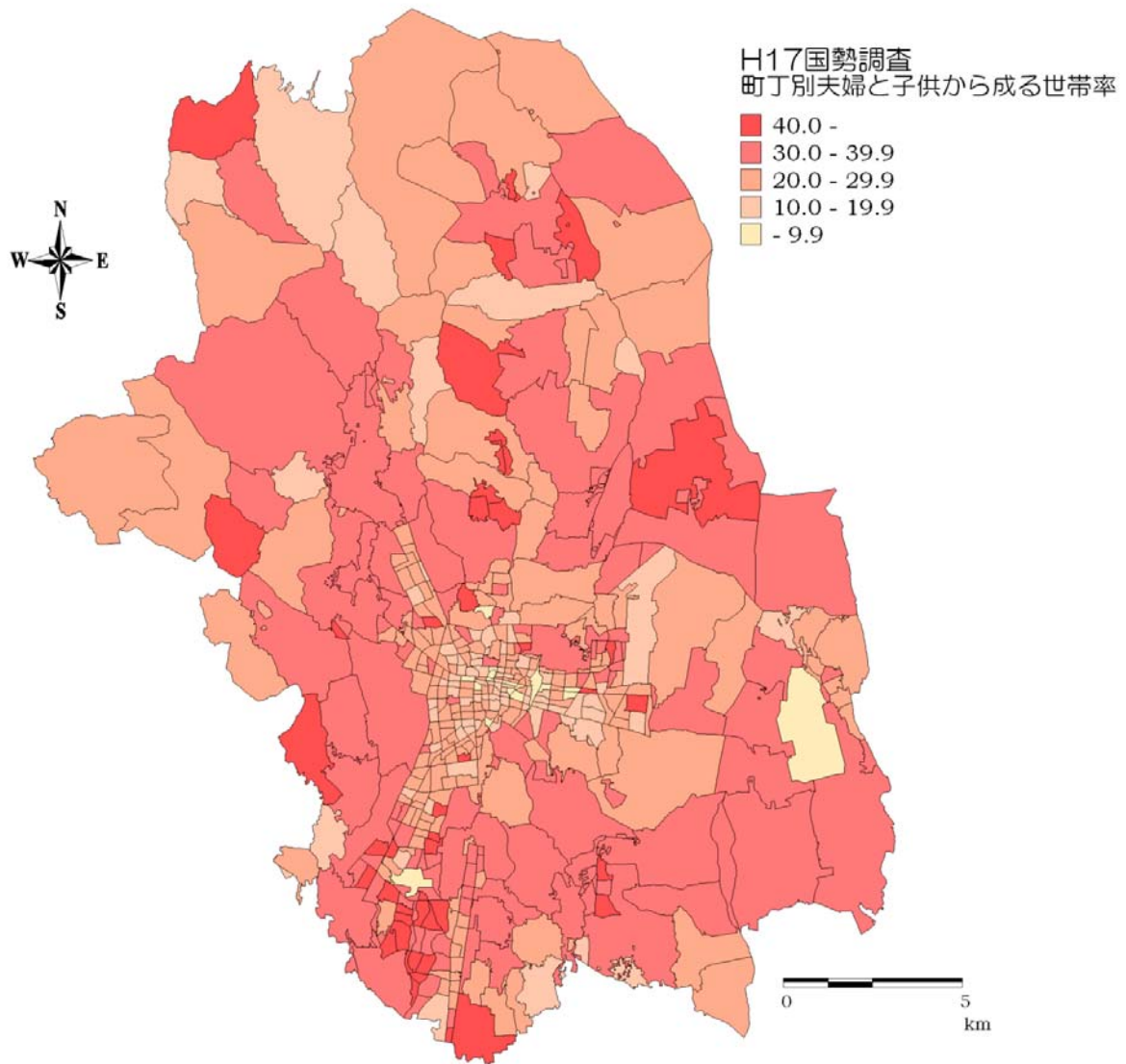


夫婦のみ世帯率（夫婦のみ世帯数/世帯数）を町丁別に見てみると、不動前1丁目、池上町、西川田6丁目、さつき3丁目、八幡台、緑4丁目と世帯数が少ないため割合が高くなっている中心市街地や住宅団地が立地しているところが高い傾向にある。

篠井、城山、瑞穂野地区の農村地域で低い傾向にある。

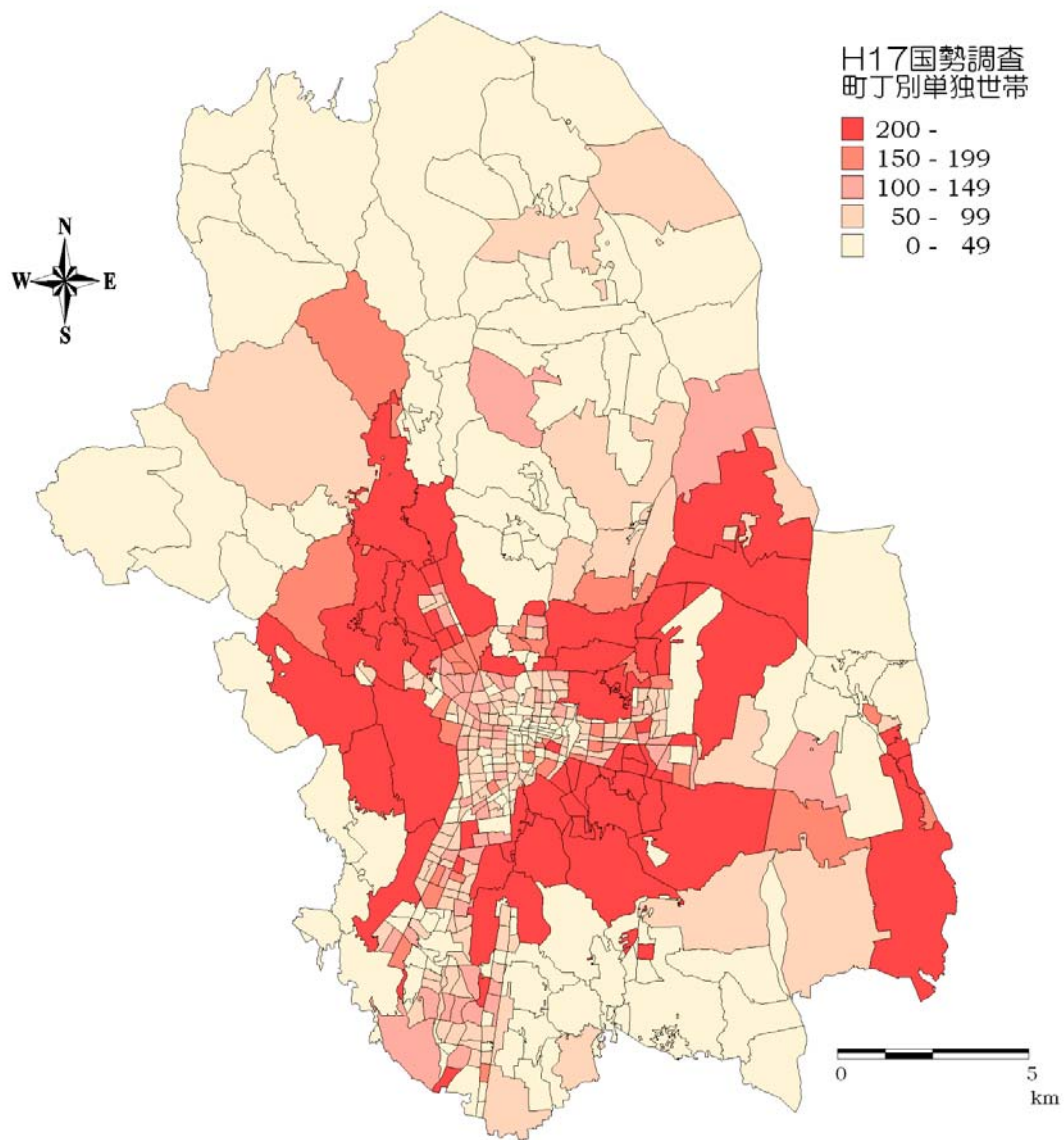


夫婦と子供から成る世帯を町丁別に見ると，夫婦だけの世帯と同じく，やはり中心市街地の周辺や宇都宮環状道路やその幹線道路沿いが多く中心市街地や工業団地，南部，北西部の農村地域が少ない傾向にある。



夫婦と子供から成る世帯率（夫婦と子供から成る世帯/世帯数）を町丁別に見ると，豊郷台や陽東6丁目，横山3丁目など新旧住宅団地が高い。

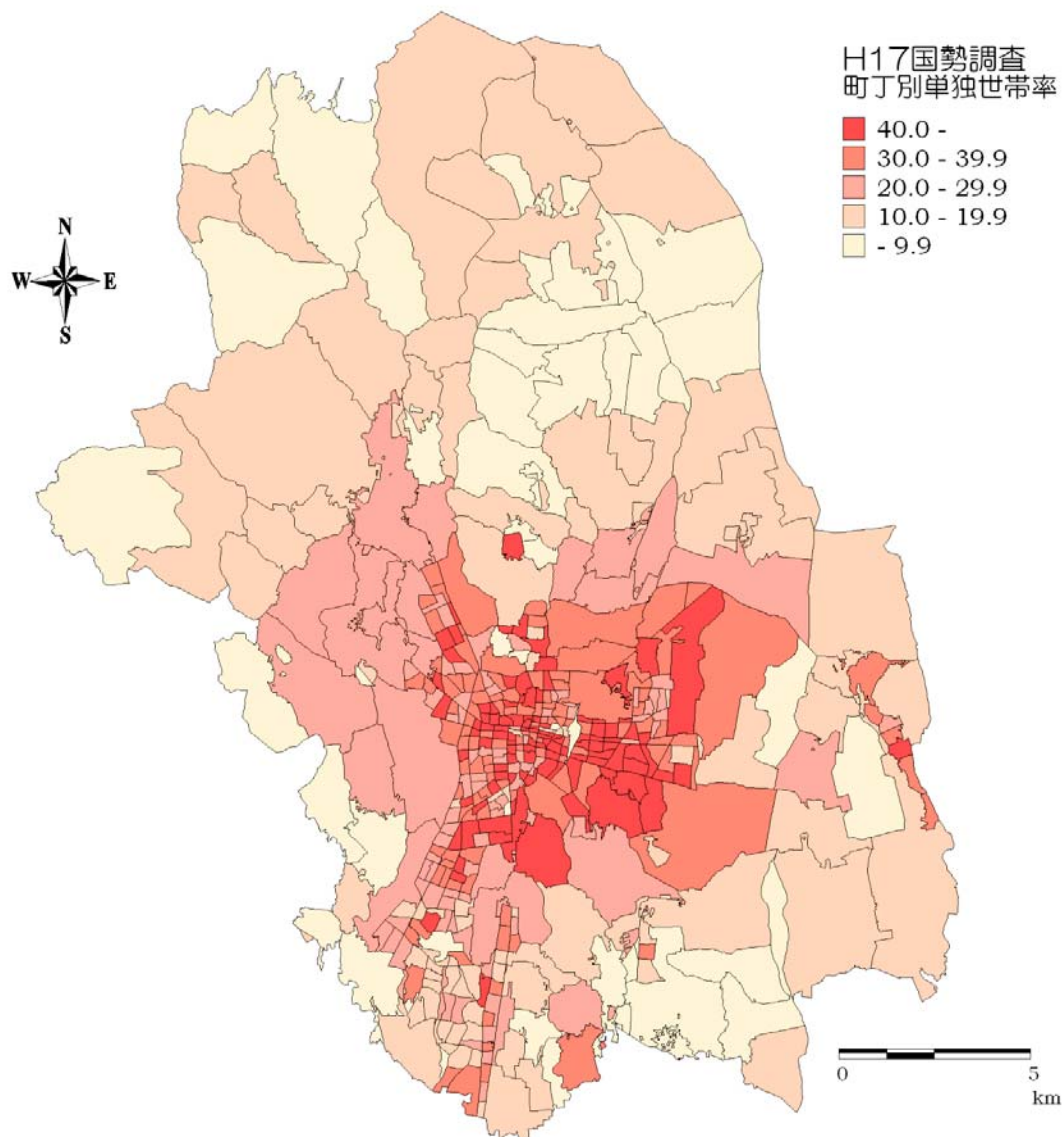
これに対し中心市街地が低い傾向となっている。



単独世帯数を町丁別に見ると，中心市街地周辺に密集している。宝木本町から西川田までの宇都宮環状道路沿いや国道4号線から水戸街道沿い，工業団地周辺で多くなっている。

これは生産年齢人口の分布図と似ており，通勤等で交通に便利な地域に居住する傾向にあると考えられる。

これに対し，中心市街地や郊外の農村地域などは少ない傾向になっている。



単独世帯率(単独世帯数/世帯数)を町丁別に見ると、世帯数が少ない中心市街地が高く、また工業団地付近も高い。

中心市街地から遠ざかるに従って単独世帯率は低くなる傾向にある。

中心市街地では高齢人口率が高いので、高齢単身の割合が高く、工業団地付近は会社の寄宿舍、独身寮など生産年齢人口の単身者の割合が高い傾向にあると考えられる。

「一人暮らし高齢者」は11,304世帯で、36.0%増加。

高齢夫婦世帯は14,469世帯で24.4%の増加。

65歳以上親族（高齢親族）のいる一般世帯は57,236世帯で、一般世帯数(194,051)の29.5%を占めており、平成12年に比べ8,693世帯、17.9%増加している。

このうち、核家族世帯は26,721世帯（高齢親族のいる一般世帯数の46.7%）で29.3%増加している。

また、「一人暮らし高齢者」（高齢単身世帯）は、11,304世帯（同19.7%）で36.0%増と大幅に増加しており、65歳以上人口に占める割合は13.4%と平成12年（11.7%）に比べ上昇している。

高齢親族のいる一般世帯では核家族化の進行と、「一人暮らし高齢者」の増加が顕著となっている。

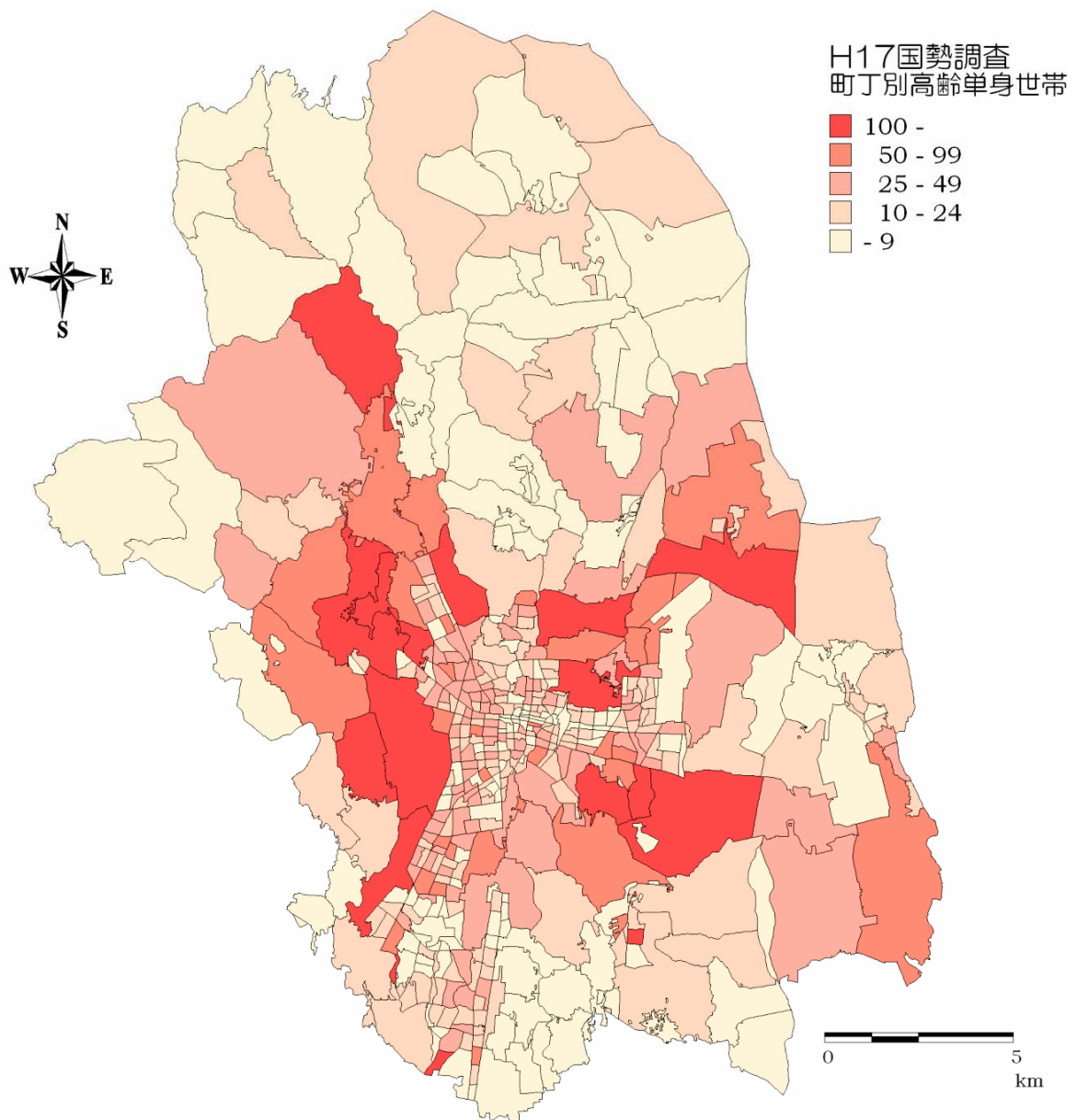
「一人暮らし高齢者」を男女別にみると、男性が3,404人、女性が7,900人で、女性が男性の2.3倍となっている。また、「一人暮らし高齢者」が65歳以上人口に占める割合は、男性が9.5%、女性が16.3%となっており、高齢男性の約10人に1人、高齢女性の約6人に1人が一人暮らしとなっている。

高齢夫婦世帯は14,469世帯で、高齢親族のいる一般世帯数の25.3%を占めており、平成12年に比べ2,838世帯、24.4%増加している。

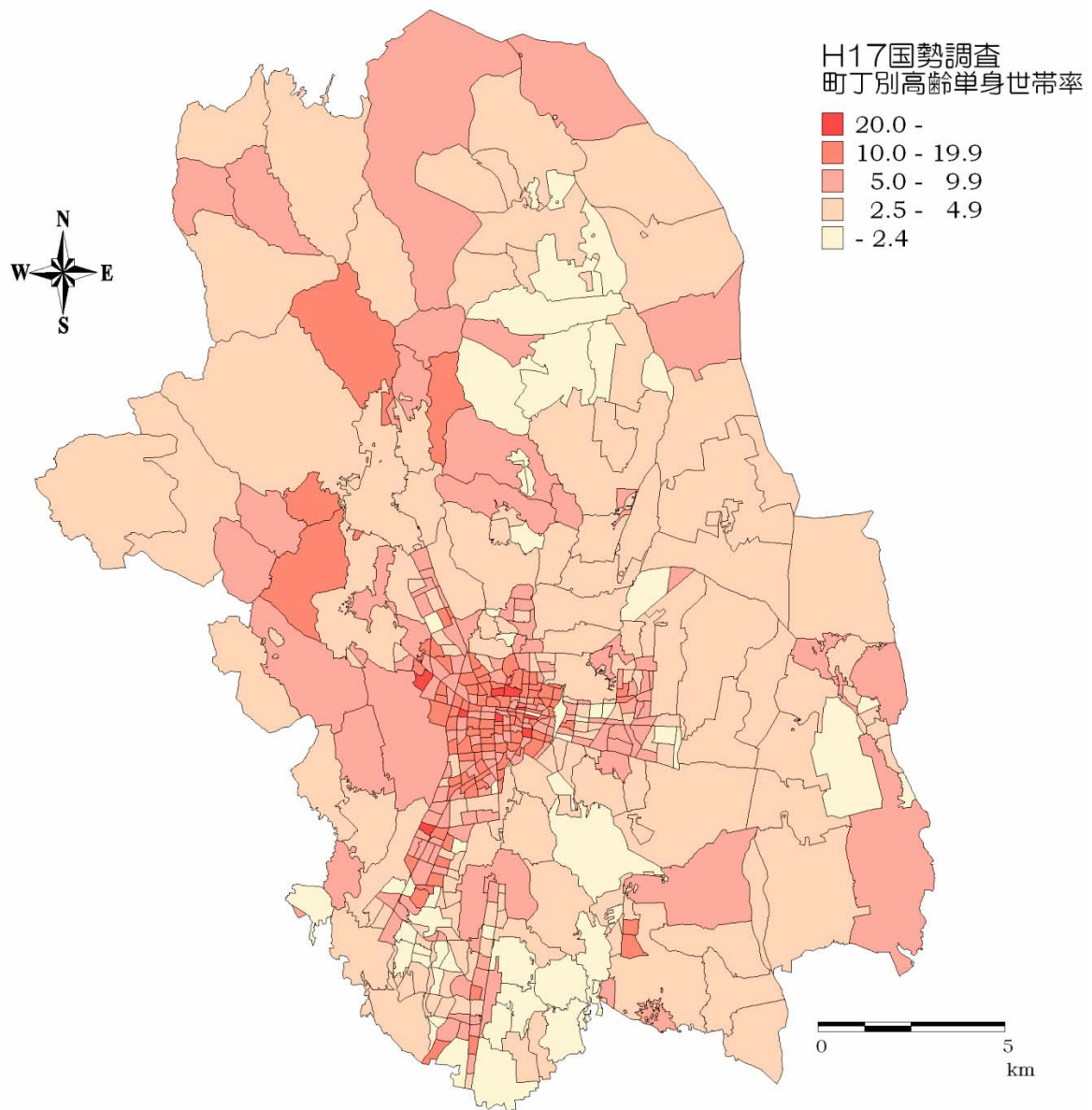
65歳以上親族のいる一般世帯

地 域	世帯数	総数	親族世帯				その他の親族世帯	非親族世帯	単身世帯
			核家族世帯数	夫婦のみ	その他の核家族世帯	その他の親族世帯			
H17	宇都宮市	52291	41389	24665	13437	11228	16724	83	10819
	上河内町	1342	1244	463	182	281	781	-	98
	河内町	3603	3213	1593	850	743	1620	3	387
	合計	57236	45846	26721	14469	12252	19125	86	11304
H12	宇都宮市	44315	36298	19206	10904	8302	17092	62	7955
	上河内町	1270	1188	347	138	209	841	-	82
	河内町	2958	2678	1105	589	516	1573	5	275
	合計	48543	40164	20658	11631	9027	19506	67	8312
H17-12	合計	8693	5682	6063	2838	3225	-381	19	2992
増加率		17.9	14.1	29.3	24.4	35.7	-2.0	28.4	36.0

	65歳以上人口 (a)	一人暮らし高齢者数 (b)	一人暮らし高齢者が 65歳以上人口に占める割合(b)/(a)*100
H17総数	84486	11304	13.4
男総数	36013	3404	9.5
女総数	48473	7900	16.3

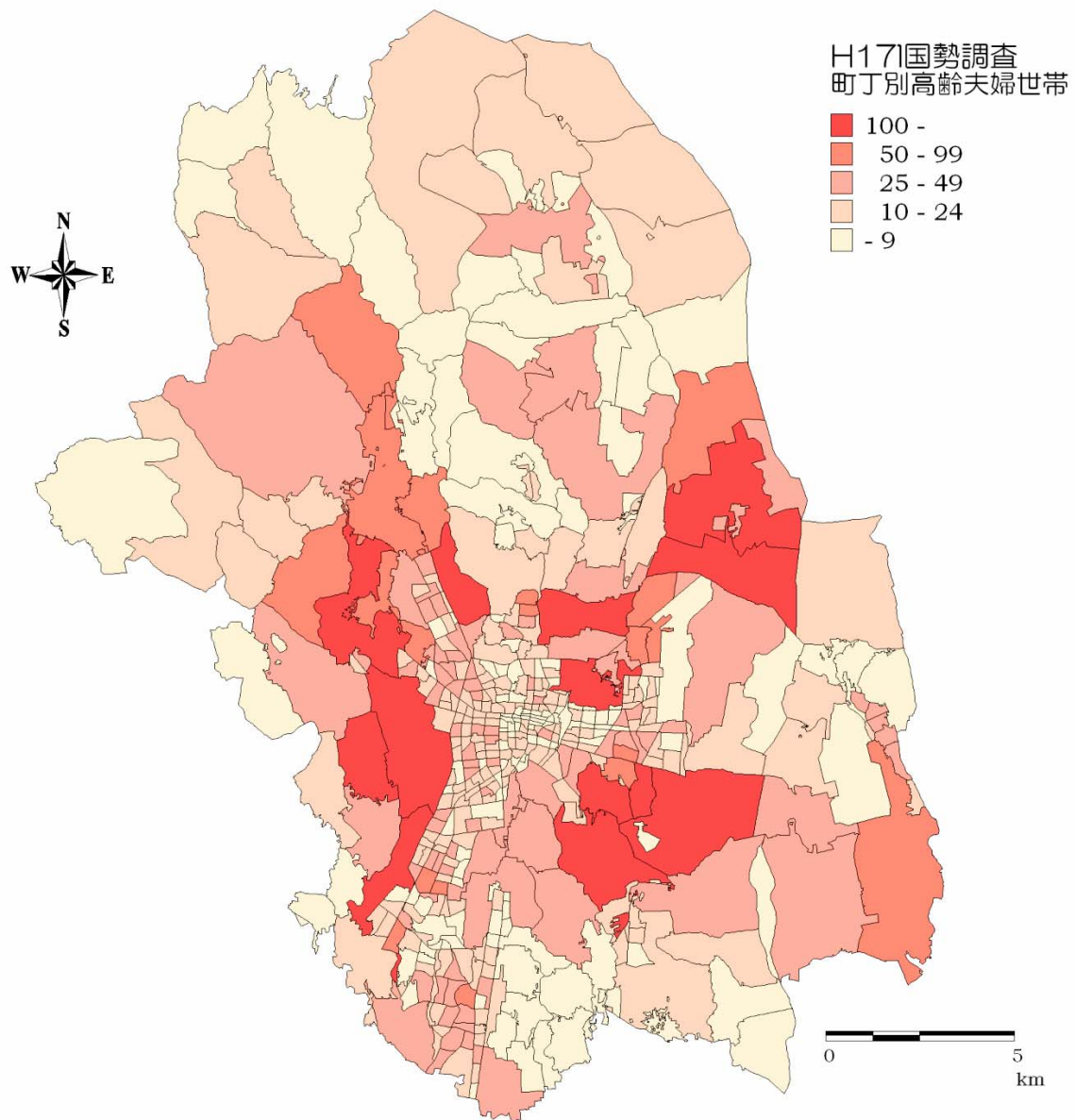


高齢単身世帯数を町丁別に見ると、宇都宮環状道路やその幹線道路沿いに多い。
これは世帯数全体の分布図と似ている。
また、中心市街地から陽南、雀宮地区一帯も色合いが濃い。特に公営住宅が立地している地域の色合いが濃いことも特徴的である。
瑞穂野地区、豊郷から篠井地区、上河内地域の農村地域などは少ない傾向にある。



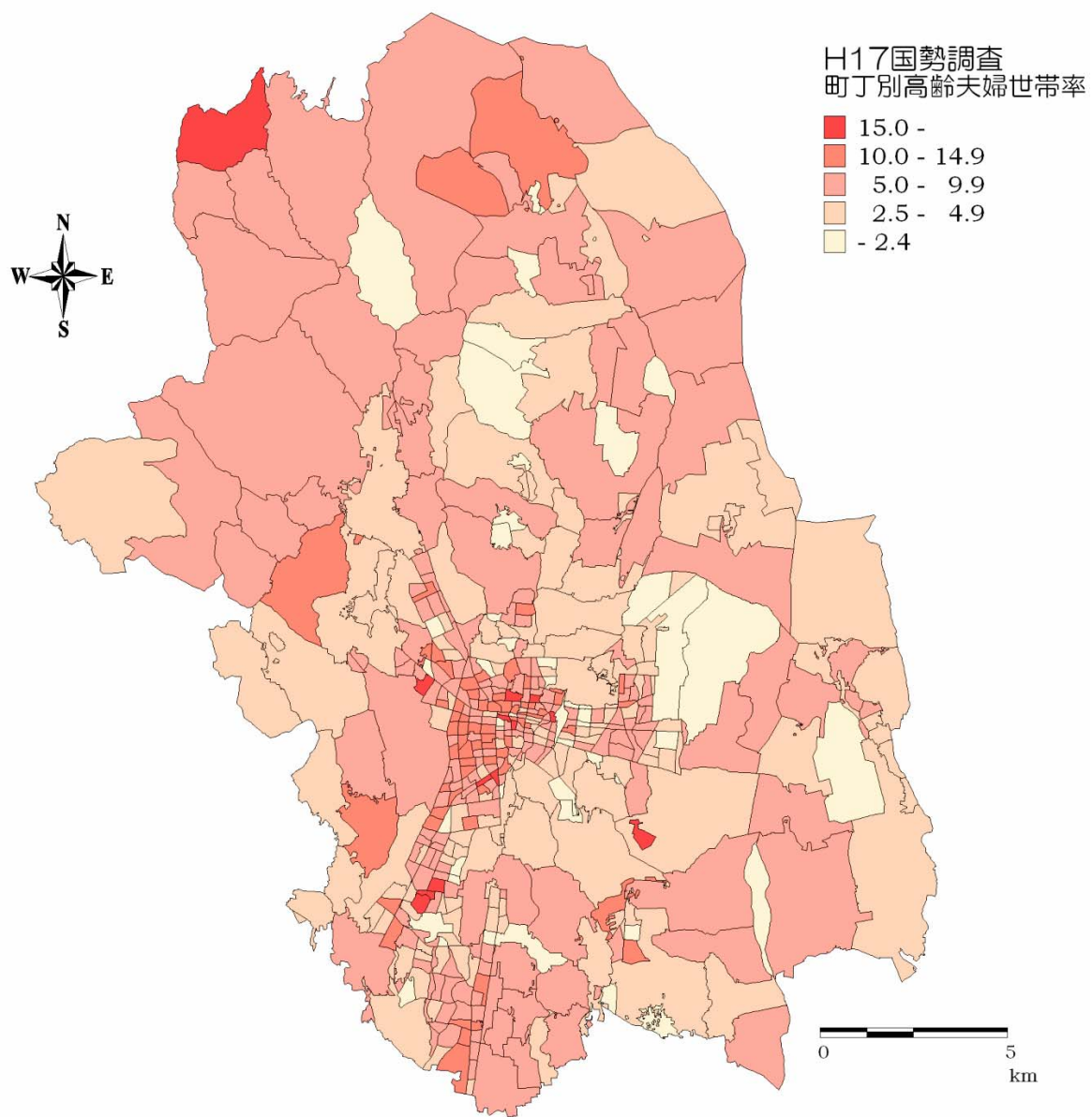
高齢単身世帯率（高齢単身世帯/世帯数）を町丁別に見ると、世帯数の少ない中心市街地が高い傾向にある。

また、社会施設や公営住宅がある地域も高くなっている。



高齢夫婦世帯数を町丁別にみると、高齢単身世帯と同様に宇都宮環状道路とその幹線道路沿いが多い。

世帯数の少ない中心市街地や農村地域が少ない傾向にある。



高齢夫婦世帯率を町丁別に見ると、中心市街地も高いが、篠井地区、上河内地域、城山地区、瑞穂野地区の農村地域も高い傾向を示している。

世帯数が少ないため割合が高い地域と以前から居住している世帯が高齢化した地域であると考えられる。

また宇都宮環状道路やその幹線道路沿いの人口・世帯数が多い地域は比較的少ない。